

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	関戸 裕香	学校名	堺市立平井中学校
実施学年	中学校1年生	教科	国語
单元名	語彙を豊かに ～食リポをしよう～		

《学びを深めたいポイント》

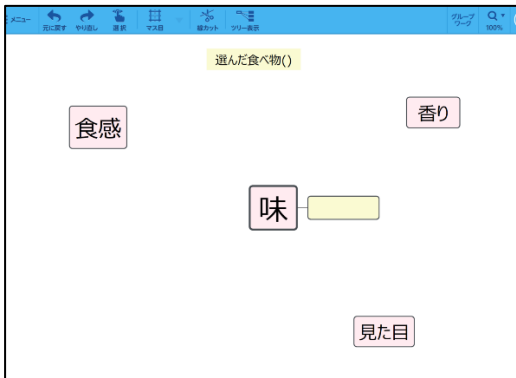
言葉自体は知っているが、それをどう使うかわからないという生徒は多い。「語彙を豊かに」という单元だが、単に新たな語彙を獲得するだけではなく、「豊かな語彙を使いこなすことができるようになる」ということに着目した。自分の好きな食べ物について、その食べ物がどんなふうにおいしいのかを詳しく説明する「食リポ」の活動を通し、どのように考えれば豊かな語彙を使いこなすことができるのか、また、豊かな語彙を使いこなすことでどのような効果があるのかを考えさせたい。

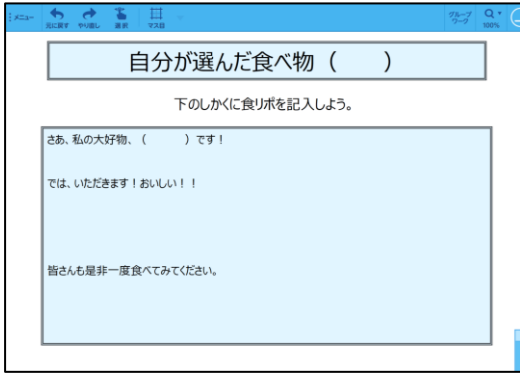
《SKYMENU 活用のポイント》

「マッピング」機能を使い、「味」「香り」「見ため」「食感」の観点で言葉を整理する。自分の知っている語彙を引き出したり、結び付けたりしながら豊かな語彙を使いこなすことについて考えさせたい。「書きやすく消しやすい」という ICT のメリットを最大限に活かし、書くスペースや書き直すことを気にすることなく思考を広げることができる。

「みんなの作品」機能を使い、食リポの原稿を相互評価しながら、新たな語彙や表現の方法を知り、その効果について考えることができるようにする。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導 入	① 自分の好きな食べ物を挙げ、それがどんなふうにおいしいのかを説明してみる。		
展 開	② その食べ物について、より詳しく、おいしそうに説明するために考えを整理する。	・発表ノートを配布。1 ページめにはマッピングのページを作成し、「味」「香り」「見ため」「食感」のカードを配置しておく。 	・マッピングをすることで思考を整理することができる。書くスペースなどを気にすることなく、思いついた言葉を書き足すことができる。

	③ マッピングを見ながら、食リポの原稿を作る。	・2 ページめにはノートを作成し、食リポを入力するテキストボックスを用意しておく。 	・原稿をテキストで入力することで推敲しやすい。
	④ 原稿を学級で共有する。	・「みんなの作品」で発表ノート 2 ページめ（食リポの原稿）を共有し、評価カードを使ってお互いの作品にコメントを残す。	・画面上で共有することにより多くの生徒の作品を読むことができる。 ・コメントをすることで表現の効果について考えたり、語彙を広げたりすることができる。
ま と め	⑤ 自分の原稿を振り返る。		・原稿をテキストで入力することで推敲しやすい。

《実践を振り返って》

マッピングは有効な思考ツールですが、紙媒体で取り組もうとすると、どうしても書くスペース等の関係で書き足すことが難しくなったり、躊躇してしまうことがあります。ICT を活用することでそういったハードルを感じることなく前向きに学習に取り組むことができました。また、見やすく整理できることで「〇〇と〇〇の言葉って、〇〇の観点でつながっていると言えそう!」と、言葉と言葉の結びつきにも気づくことができました。

また、「みんなの作品」では全員の作品を見ることができ、普段はクラスの中での関わりが少ない生徒同士がコメントしあう姿も見られました。ほかの人の作品を見て、「〇〇さんの食リポおいしそう!自分も～の表現を使ってみよう」「おいしそうに説明するためには、詳しく、具体的な情報を伝えた方がよさそう!」と、豊かな語彙を使いこなすことについて考えを深めることができました。